

専門部会報告シート

部会名	就労支援部会	報告回	令和2年度第1回全体会
委員 氏名		氏名	選出母体及び役職等
	1	◎高橋 美佳	地域生活支援センターあけぼの 所長
	2	○桑田 利重	地域生活支援センターみ～な センター長
	3	玉上 博康	ワークショップさかえ 施設長
	4	田村 智久	府中市パーキンソン病友の会 会長
	5	塚本 美樹	府中公共職業安定所 専門援助部門統括職業指導官
	6	松田 豊	東京都立府中けやきの森学園 教諭
	※部会長は◎、副部会長は○		
現状	<p>「障害者の雇用の促進等に関する法律（障害者雇用促進法）」の改正により、平成30年4月から障害者の法定雇用率が引き上げられ、雇用の拡大が期待される中、障害者本人だけでなく、雇用する企業側にも悩みがあることが、平成30年度から開催されている「障害者雇用相談会」において明らかとなっている。そこで障害者雇用の促進するため、障害者本人及び企業に対して雇用に繋げるための支援および雇用を定着させる支援が必要である。</p>		
検討 テーマ (概要)	<p>「障害のある方が安心して働き続けられる地域（社会）を構築する」をメインテーマに、市内の中小企業の障害者雇用促進のために必要なこと、就労定着のために必要なことについて、障害者雇用を支援している現場（就労移行支援事業所）からの声を集約しながら議論を進め、地域の課題を抽出する。</p>		
取組 経過	<p>【令和元年度の取組】 障害者本人側からと企業側から、雇用に向けた支援および定着に向けた支援について、現状と課題、解決策について意見を集約した。</p> <p>【令和二年度の取組】 令和元年度の協議より見えてきた課題の中から市内の中小企業の雇用促進に着目し、就労移行支援事業所にアンケートを実施し、中小企業の障害者雇用促進を目指し、支援をしている現場の声を聞き、障害のある方が安心して働き続けられる地域を構築するために必要となる支援を抽出する。</p>		
検討 結果	<p>1 むさし府中商工会議所訪問について</p> <p>(1) 当初の予定ではむさし府中商工会議所の会員を招き、障害者雇用に関する現状や、困っていること、どのようなサポートがあれば雇用できるのか、今以上に雇うことができるかなどのヒアリングを考えていたが、新型コロナウイルスの感染が拡大している中、対面でのヒアリングは控えることとした。アンケートや電話による聞き取りなども検討したが、今年度は見送</p>		

ることとした。

2 就労移行支援事業所へのアンケートについて

(1) 1の代案として府中市障害者就労支援機関連絡会のメンバー、就労移行支援事業所を対象にアンケートを実施し、支援者側からの企業とのやり取りでの課題等を聞くことで問題点を明らかにし、必要な支援について抽出していくことを検討している。

(2) アンケートについて

ア 対象

市内8か所の就労移行支援事業所、み～な

イ アンケート内容

就労移行支援・定着支援それぞれについて以下の内容を質問する。

- ・支援するにあたって重視していること
- ・企業から求められたこと
- ・企業側に不足していると感じること
- ・障害者の雇用を広げる（働き続ける）ために不足していること
- ・障害者の雇用（定着）についての悩みや不安について
- ・障害者の雇用を広げる（働き続ける）ために府中市に期待すること

ウ スケジュール

- ・就労支援機関連絡会にて、アンケート調査に関する依頼
- ・8月中にアンケートを実施、回収
- ・第3回専門部会にてアンケート結果を踏まえ検討

会議開催状況と内容

	日程	内容
第1回	6月26日	<中小企業の障害者雇用の現状について現場の声を聞くための方法について> 出席委員5名 *むさし府中商工会議所への訪問または対面でのヒアリング実施は難しいと判断。アンケートの実施について議論したが、見送ることとした。 *代案として就労移行支援事業所へのアンケートを実施することを確認した。
第2回	7月16日	<就労移行支援事業所へのアンケートの内容について>出席委員6名 *アンケートの内容について検討を行った。 *今後の流れについて確認を行った。

第3回	9月24日 予定	<アンケートの集計を受けて問題の抽出>	
第4回	10月●日 予定	<答申に向けた準備>	
第5回	11月●日 予定	<答申に向けた準備>	
第6回	12月●日 予定	<答申に向けたまとめ>	